

2回戦

12年秋季リーグ
第3週・9月20日
0勝2敗

あと一步、

最終回の猛追及ばず・・・

駒大 6-8 亜大

王者・亜大に2連敗

今永は3回4失点と厳しい投板となった【右】
猛打賞の活躍をした小林は現在打率首位を走る【下】



今リーグ2本目となる本塁打を放った江越【右】

駒大	010	000	014	6
亜大	202	200	20x	8

【駒大】	打安点
⑦中谷	510
⑧小林	531
⑤下川	510
PR藤原	000
⑥白崎	411
⑨江越	322
③福山	321
DH柳原	201
HD木下祐	110
RD松本	000
HD古賀	100
②戸柱	410
④砂川	310
計	36136

▽二塁打=小林 2
▽三塁打=福山
▽本塁打=江越

	回	打安責
●今永	3	1664
●片山	2	1042
●栗林	3	1342

勝ち点奪取のためには負けれない2戦目。先発・今永昇太(経1)は本塁打を含む計6安打を浴び4失点で3回に早々とマウンドを譲ると、続く投手陣も亜大の勢いを止められない。打線は終盤、怒涛の猛追を見せるも及ばず。雪辱を果たすことができずに2連敗。連勝ときていただけに痛い連敗となった。

どうも踏ん張りきれない。先発の今永は初回、内野安打で出塁を許すと2連打を浴び早々に2失点。3回にも先頭に中前安打を放たれると、レフトに弾丸ライナーともいえる本塁打を浴びてしまう。ここで今永は降板。いずれも2死からの失点だけに今永も「先発がこういうピッチングではいけない」と表情は厳しかった。代わった片山雄貴(商1)と栗林駿一(経4)も失点を許し差を広げられる。

勝ち点奪取のためには負けれない2戦目。先発・今永昇太(経1)は本塁打を含む計6安打を浴び4失点で3回に早々とマウンドを譲ると、続く投手陣も亜大の勢いを止められない。打線は終盤、怒涛の猛追を見せるも及ばず。雪辱を果たすことができずに2連敗。連勝ときていただけに痛い連敗となった。

打線も4試合連続二桁安打とヒットこそ出るも、あと一步攻めきれない。だが8回、江越大賀(法2)が相手のウイニングショットであるフォークを綺麗にレフトスタンドへ運ぶと、「そこは見事」と西村亮監督も言ったように、最終回沈黙していた打線が奮起。小林勇登(経4)から3連打、福山亮(経2)の3塁打で2点差まで迫るもここまで。反撃の口火が遅かった。

2連勝し勝ち点を取って勢いがあつただけに、ここでの連敗は痛い。リーグ戦もそろそろ中盤。「守りきれなかった、次は大事なカード」と小林が言うように、一戦必勝、根気強く戦う事が鍵となる。

文 池田初
写真 服部萌香
松井智子